

(平成 30 年 4 月試験研究業務月報)

タスクチーム活動：(テーマ名) 防除柵の危険箇所の予測と管理手法の普及

情報

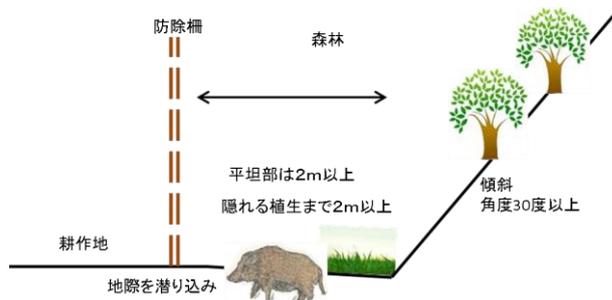
野生動物の『防除柵の侵入危険箇所と侵入防止の手引き』を作成

当センターと広域振興局及び農業改良普及センターは、タスクチーム活動として、野生動物による農作物被害を防ぐ防除柵について、動物の柵内への侵入状況や農家組合等の管理状況を調査しており、今月中丹地域で3か所の調査を行いました。

シカ、イノシシが侵入した場所の植生や地形は特徴的な傾向がなく、防除柵の様々な場所で侵入される可能性があることから、あらゆる条件の下で対策を講じる必要があることを確認しました。

また、管理実態調査では、管理の必要性を十分認識し、役員を中心に点検や管理作業が行われている一方で、適切な管理のために必要な人や資金の確保について、将来への不安を感じている実情も解りました。

今回の調査結果を基に作成した侵入防止の手引きを研修会等で活用し、適切に被害を防ぐよう普及活動を行います。



防除柵の侵入箇所を調査し、
侵入方法・侵入場所の特徴を解析



調査データを基に防除対策の
「手引き」を作成